

# すわみつえ通信

No.339 2024年11月25日

日本共産党鴻巣市議会議員  
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

## 市議会12月定例会始まる

今年最後の市議会12月定例会は、11月28日(木)から12月18日(水)まで21日間の会期で開催されます。

人権擁護委員推薦、「国民健康保険税の値上げ」、公共施設の指定管理者指定、一般会計補正予算など18議案が予定されています。衆院選挙で自公政権が過半数割れての市議会となります。物価高騰や気候変動から、市民の暮らしを守る市政となるよう力をつくします。

### 鴻巣市立市民センターも指定管理者での運営に 住民サービスの後退にならないか質します

鴻巣市には、本町コミュニティセンター、コミュニティふれあいセンター(登戸)、市民センター(北鴻巣駅前通り)の3施設のコミュニティセンターがあります。

今議会で市民センターを指定管理者での運営にする議案が上程されます。市民センターは、地域の自治会はもとより、サークル活動、高齢者のサロンなど、多くの市民が利用しています。



市民センター

### マイナンバーカードによる証明書発行？

何より住民票や印鑑証明書などの証明書の発行を行っています。指定管理者の運営となるとこういった証明書発行が出来なくなります。市はマイナンバーカード利用のためマルチコピー機も併せて検討をしています。

マルチコピー機で証明書発行が可能となりますが、マイナンバーカードを持たない方は市役所や支所に足を運ばなくてはならないのか。住民サービスの後退にならないよう質疑をしてみたいです。

### 教育支援センターを小谷小学校跡地に移転？

現在、教育支援センターは、川里地域のふるさと館にあります。ここには不登校児童生徒が通う適応指導教室があります。

「学校」の門をくぐるできない子どもたち、一人一人の実情に合わせた計画のもと、個別や小集団を通した指導が行われています。跡地とはいえ、「学校」の形態を残した建物に不登校児童生徒が通うことができるか心配の声が上がっています。移転の経緯と課題を質疑してみたいです。



現在の教育支援センター



小谷小学校

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

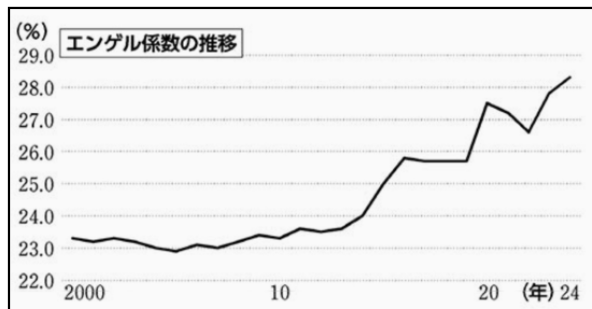
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

大谷のMVPやシクラメン  
瑠璃子  
【俳句コーナー】

## 【目でみる経済】 上昇続くエンゲル係数

エンゲル係数の上昇が続きます。エンゲル係数とは消費支出に占める食費割合で、生活水準を測る指標とされます。

総務省「家計調査」で2人以上の世帯における2000年以降のエンゲル係数の変動を見ると2014年まではおおむね23～24%程度で推移してきました。しかし2014年以降、上昇が目立つようになり、直近1年(23年10月から24年9月の平均)は28・3%となりました。



エンゲル係数が上昇した要因は食品の高騰です。気候要因やロシアのウクライナ侵略によって世界的に小麦価格が上昇したことや、原油価格の高騰などが影響しました。しかも食料自給率が低く、6割以上を輸入に頼る日本の場合、食料価格は為替相場に左右されます。「異次元の金融緩和」で円安が加速したため、食品高騰に拍車がかかりました。

今年に入って目立つのがコメ価格の上昇です。9月の家計調査ではコメの購入額は前年同月に比べ36・8%も増えました。政府が主食の需給と価格安定に責任を果たさず、需要見通しギリギリまで減産を強いているため、不作や需要増があると品薄になり価格が高騰するためです。エンゲル係数上昇の背景に自民党政治の問題があるのです。【しんぶん赤旗 11月21日付】

## いわさきちひろ絵本の秘密

ウクライナの首都キーウの町並みを61年前に絶賛した絵本画家がいる。いわさきちひろ。望外だったか、現地から家族に宛てた手紙に「こんなにきれいにできているなんて」と記した。▲彼女の絵本には平和をつくる秘密が隠されている。そんな文句に誘われ、没後50年展を催す東京・練馬のちひろ美術館を訪ねた。愛らしく、しっとりと淡い水彩の子どもたち。

どの絵を見ても、優しい気持ちになる▲ただ、館内に並べてあった生前最後の絵本「戦火のなかの子どもたち」を手にとって驚いた。鉛筆と墨で描かれた、うつろな表情で立ち尽くす幼い子どもたち。戦争が何を奪うのかを伝えている▲発行は、ベトナム戦争真っただ中の1973年。東京で体験した空襲の怖さから、傷つき、死んでいった戦場の子どもたちを思わずにいらなかったのだろう。晩年、病を押して絵筆を握った制作活動に執念を思う▲ロシアがウクライナに侵攻を始めて、今週で千日が過ぎた。悲しく絶望的な時間が続く。私たちも。そんな時、「絵本のやさしい世界をちょっとでも思いだして」というメッセージを、ちひろは日記に残している。展示の秘密の「種明かし」のようでもある。



戦火のなかの少女



カーテンにかくれる少女

【中国新聞 11月22日付 コラム「天風録」】

好評発売中

**大判カレンダー**

1,650円(税込)

A2判59.4×42cm

絵7枚

●表紙／立てひざの少年

**いわさきちひろ カレンダー 2025**

●企画／ちひろ美術館

世界中のこどもみんなに  
平和としあわせを

●1月/2月 スケートをする子どもたち

●3月/4月 「せくらが さいた」

●5月/6月 草むらの少年

●7月/8月 海を見つめる子

**いわさきちひろ作品普及会**

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-31-12

いわさきちひろグッズのオンラインショップ

**いわさきちひろホームページ**

で検索してください

**ご注文方法：日本共産党の各後援会にお申込みください！**